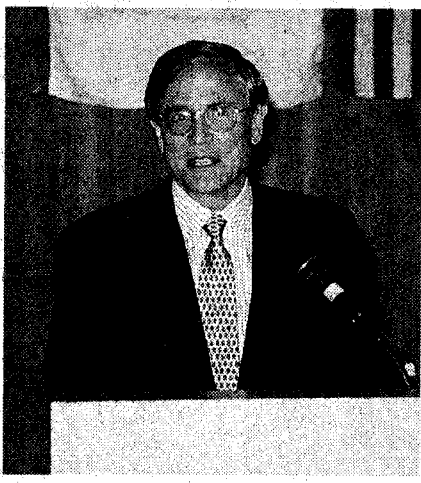


「琉僑への挑戦」

第3回 WUB世界大会

第三回WUB(ワールドワイド・ウチナンチユ・ビジネス・アソシエーション)世界大会では、ハワイ東西センターのチャリス・モリソン



「グローバル化の中の沖繩」をテーマに講演するハワイ東西センターのチャリス・モリソン総裁(ロサンゼルス市内のホテル)

▷2◁

種族)などの善書で知られるジョー・コトキン氏がそれぞれ講演。世界的な民族ネットワークの重

モリソン氏

サミットに向け企画を ハワイとの教育交流提案

要性を強調した。まず、モリソン総裁の講演要旨を紹介する。

グローバル化の中の沖繩

けるという意味で使われる。現在は統合、一体化の意味も持つ。投資、資金、人口の移動、価値観の移動などの意味もあり、もろ刃の剣でもある。

グローバル化は富や雇用を創出するものであるという人もいる。一方

解するルールをつくらねばならない。現在の経済を左右する一番大きなものは、先進七カ国の集まりだ。経済の枠組みをつくる決定機関はG7にな

れば、首脳が来て立ち去り、何も残らず、メディアに乗って騒がれるだけで、沖繩のために残ることは何もなく、サミットの開催地であったという記録だけが残ってしまうことになりかねない。

また、沖繩での何らかの研究施設の設置に協力したい。ジョイントでの合同事業や東西センターの一部(このこと)で始めることができれば、やりやすい方法ではないか。

で、二つの違う世界をつくってしまうという人も

益を得る人たちが取り残される人たちが。職を失う

トが沖繩であることは、沖繩の将来にとって大切なことだ。次の機会にこのような国際的会議をホストすることは、何十年もないだろう。

私どものハワイ東西センターでは、沖繩特別プロジェクトを考えている。東西センターと沖繩の関係をもっと密にし

沖繩を海外の沖繩の人たちに紹介し、海外の沖繩の人たちに沖繩を、お互いに紹介する。WUB

自されたのは経営学で、

国内の経済に比べて国際的な経済を管理するのは難しい。だが管理するのにはっきりしているからだ。経済構築において、主要先進国が理

このサミットが沖繩のために役に立つかは分からない。何の計画も

それは①ハワイ大学で学ぶ研究員を募る②ハワイの企業内研修③大学の教授陣の交換の三本柱。

は、まだ三回目の世界大会で、若い組織だが、成功に向けて頑張っています。(政経部・宣保靖)